

# 新春日部

発行  
党共産党  
委員会  
春日部市中央  
春日部市  
7-10-9  
電話 736-9933  
FAX 736-9991

## 党市議団

### 市教育委員会へ

# 安全・安心な教育について要望

7月27日(月)、党市議団は「安全・安心な教育の実現を求める要望書」を教育委員会に提出し、鎌田亨教育長と懇談しました。学校教育部長、学校総務課長、学務指導担当課長、社会教育課長が同席しました。

## ゆとりをもった教育と全教職員にPCR検査を

3か月に及ぶ臨時休校とその後の対応で、児童・生徒、教職員、保護者に、感染不安と学習の遅れなどを心配する声があり、肉体的・精神的な疲弊が起こっています。



鎌田教育長と党市議団(1名欠席)

新型コロナウイルス感染症防止対策をしっかりと行い、ゆとりある安全・安心な教育を実現するよう要望しました。教育長は、要望に応えられよう努力すると答えました。

## 安全・安心な教育の実現を求める要望書

主な内容 (全文は党市議団ホームページに掲載) 7月27日

- 1 少人数学級の実現のために国・県へ要望書を提出する。
- 2 3密対策など教職員への対応
  - ①全教職員に定期的なPCR検査を実施する。
  - ②職員室の3密状態を改善する。
- 3 現在のつめこみ授業はやりすぎ、是正される必要がある。
  - ①土曜授業はやめる。
  - ②2学期始業は、9月1日にする。
  - ③部活動の朝練や、小学校の朝運動はやめ、児童・生徒、教職員がゆとりをもって生活ができるようにする。
  - ④児童・生徒が主体的に活動する行事(運動会や体育祭などを優先する。スーパー元氣さわやか集会や3デーなど)をやめ、校外行事は必要最低限度にする。
  - ⑤マスク着用の過剰な対応は心身の健康にかえてマイナズであり、配慮が必要。登下校時や体育時などはマスクを取り外してもよいことなど、主体的、科学的に感染症に向き合えるようにする、また、熱中症にならないように配慮し指導する。
  - ⑥トイレ、流しなどの清掃、机などの消毒作業のための職員を配置する。児童・生徒による清掃は感染防止に配慮したものにする。
- 4 父母負担軽減と食育のために学校給食費を無償とする。
- 5 準要保護(就学援助)を生活保護基準の1.3倍までから1.5倍までに戻すとともに、1.5倍までの家庭にもひとり3万円を給付する。
- 6 10月15日の「第29回人権のつどい」は中止し見直すよう求める。

# 複合型施設の運営は直営で

## 指定管理者に複数の事業所が応募

来年4月に開設する複合型子育て支援施設(市立ふじ学園及び市立八木崎保育所)の指定管理者制度導入について、7月20日～22日に募集が行われ、複数の事業所から応募がありました。

保育所は以前より指定管理者制度が導入されていますが、障害児の療育を担うふじ学園(児童発達支援センター)は初めての導入です。県内では、指定管理者制度を導入している自治体はありません。今年の3月議会でも導入可能となる条例が制定され、福祉部で検討した結果、指定管理者制度を導入することを決めました。

今後、応募事業所に対す

る審査が行われ、9月議会に指定管理者制度を導入する事業所の案が上程される予定です。

### 行政の責任で障害児の豊かな成長を

党市議団は、3月と6月議会でも児童発達支援センターへの指定管理者制度の導入について次の指摘を行い、直営で行うよう求めました。  
①市の指定管理者制度導入の指針では、経費の節減が見込まれる施設には導入を図るとしています。しかし、一人ひとりの特性に応じ成長を保障する療育は、人の力も経費も必要です。必要な経費をきちんと充てて、子ども

たちの成長を保障するのが市の責務です。

②市は、民間のノウハウを生かし、専門性を確保したいと言います。しかし、これまで、専門家を招いて研修等に取り組むなど専門性を確保していません。

③一人ひとりの特性に応じる療育は、子どもの気持ちに寄り添うことが重要です。気持ちに寄り添えない指導が行われた時にパニックを起こしやすくなります。保育者への人事に直接関与できない指定管理者制度では、このような場合に対応できません。人事に直接関与できないことは大きな問題です。

④環境の変化に順応するのが苦手な障害児の療育は、5年ごとに管理者が変わる可能性を持つ指定管理者制度は、継続性がなく

問題です。

### 障害のある子どもないとも育ちあつ保育を

複合型子育て支援施設は、移転建て替えをして、八木崎保育所が120名、病児保育が3名、ふじ学園が60名と定員を増やします。

ふじ学園は、これまで知的障害児だけの受け入れでした。今度は3障害受け入れ、医療的ケアの必要な重症心身障害児のために看護師を雇用するなど、多くの積極面があります。

ふじ学園は1974年以来、直営で療育を担ってきました。一層の充実を図ることこそ必要です。

複合型子育て支援施設のコンセプトである、「障害のある子どもない子ども共に育ちあう保育」のためにも、市が直接運営するよう強く求めていきます。

休日当番医

市立医療センター ☎735-1261(夜間毎日土・日・祝)内・外科系 救急電話相談#7119

8/9(日) つちだクリニック(内科系) 一ノ割1726 ☎733-2900 久野医院(小児科系) 六軒町204 ☎737-1234 おおつ整形外科(外科系) 中央2-17-10 ☎797-5802

8/16(日) 木田内科医院(内科系) 中央1-11-4 ☎763-0183 名越内科医院(小児科系) 大枝89武里団地1-15-101 ☎735-6627 渡辺クリニック(外科系) 上蛭田128 ☎754-3666